

## 5、自治体発行物への2次元コード・SPコード印刷の動き

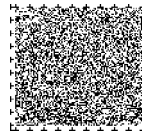
廣濟堂スピーチオ販売（株）深見拓史

### 1、はじめに

少子・高齢化社会を迎えて健康・介護・福祉への感心が高まっている。厚生労働省では、日常生活用具として「視覚障害者用活字文書読上げ装置」を認定した。これは、「スピーチオ」が対象商品である。また「スピーチオ」に対応した新しい2次元コード・「SPコード」は英・数字のみならず日本語の漢字・かなを含み、テキストを対象として発案されたものである。この「SPコード」を専用読上げ装置「スピーチオ」に読み取らせると、音声で読上げる。また「SPコード」はMicrosoft(R) word上で通常の文書作成と同時に簡単に作成できるようになっている。



写真1 スピーチオ



(Mサイズ原寸)

第1図 SPコード

### 2、Pコード付き印刷物拡大状況

企業の社会的責任(CSR)が関心を呼ぶなか、東急グループや、ダイエーなどでは、「会社案内」や「環境・社会貢献活動報告書」などに、全国銀行協会では「キャッシュカードや通帳先の盗難・紛失時のご連絡先」に「SPコード」を付けている。また製薬メカ29社から構成されている、くすりの適正使用協議会は、ホームページ上で、約5,000種類の「くすりのしおり」に「SPコード」を付与し医者向け、調剤薬局向けにサービス対応中である。

### 3、スピーチオ普及状況

統計によれば視覚障害者は、30万人とされているが、このうち点字が理解できる人は約10%だといわれている。点字を補完するものとしての「スピーチオ」は約3,000台が利用されているが、「SPコード」付き印刷物の増加に伴ってさらに「スピーチオ」の利用者が増加するものと考えている。

### 4、自治体発行物へのSPコード印刷の動き

滋賀県八日市市では、各種「お知らせ」を「SPコード」付き文書にする動きが始まり、練馬区では「障害者福祉のしおり」に、川崎市では、福祉の案内冊子「声のふれあい」に、江戸川区では「バリアフリーマップ」に各々「SPコード」を付け好評である。また介護や福祉は、行政のバックアップが不可欠であり、日本盲人会連合や日本視覚障がい情報普及支援協会では「紙が話す」～SPコードでもっと伝えたい～キャンペーンを進めている。

### 5、まとめ

東京都では、今後発行する印刷物に「SPコード」を付与することを推奨し、入札仕様書に盛り込むことを検討中と聞いている。「スピーチオ」の普及とあいまって2次元コード・「SPコード」が入った印刷物・コンテンツを市場に流通させる仕組みを考えていきたい。

参考文献(1) 深見拓史;「印刷物によるバリアフリー・コミュニケーション・システム」

日本印刷学会 春期研究発表会 2004 連絡先: [fukami@kosaido.co.jp](mailto:fukami@kosaido.co.jp) 2005年2月2日(水) PAGE2005